

みんなの健康ラジオ

『前立腺肥大症』

(2020年7月16日放送)

横浜市泌尿器科医会

由利泌尿器科クリニック

由利 康裕

前立腺肥大症の治療

1) 薬物療法

α 1アドレナリン受容体遮断薬

タムスロシン、ナフトピジル、シロドシン

PDE5阻害薬

タダラフィル

5 α 還元酵素阻害薬

デュタステリド

植物製剤、漢方薬

エビプロスタット、セルニルトン、八味地黄丸など

2) 手術療法

開放手術

経尿道的前立腺切除術 (TUR-P)

ホルミニウムレーザー前立腺核出術 (HoLEP)

レーザー前立腺蒸散術 (PVPなど)

3) 保存療法、その他

生活指導

尿道留置カテーテル

間欠導尿

α 1遮断薬

- 薬物療法で最も多く使われている治療法です。
- 比較的速やかに排尿障害の症状を改善します。
- 前立腺や尿道の筋肉をリラックスさせ尿を出やすくさせます。
- 血圧が下がったり、めまいやふらふら感が起きることがあります。
- 現在は副作用の少ない α 1ブロッカーが使用されています。

5 α 還元酵素阻害薬

- 前立腺を縮小させるはたらきがあります。
- 効果が現れるまでに数ヵ月間かかります。
- 薬をやめると元に戻ることもあります。
- 男性機能を低下させることがあります。
- 前立腺がんの発見の妨げになることもあります。

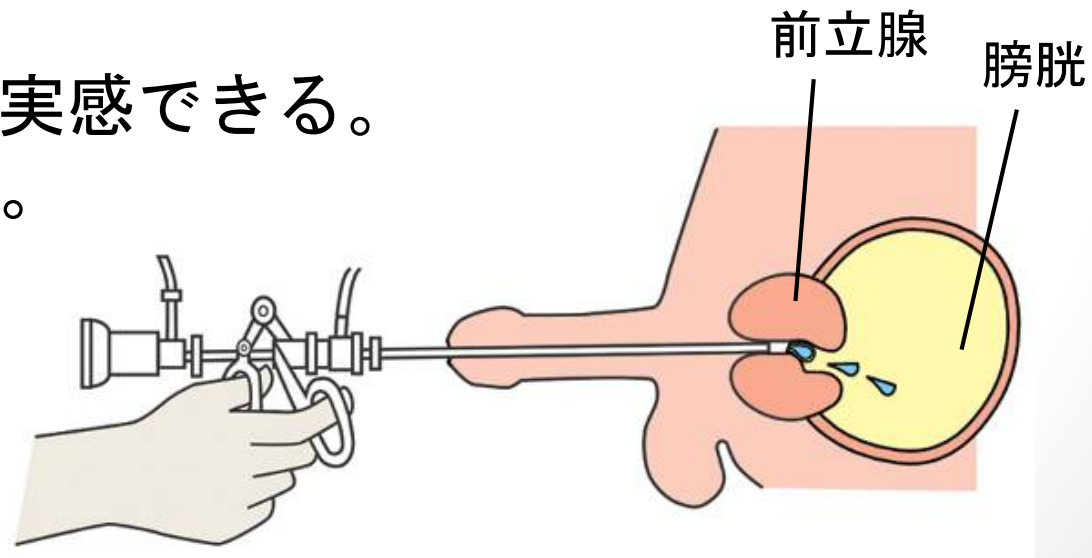
経尿道的前立腺切除術（TUR-P）

特徴

電気メスで肥大した前立腺の内側を削り取る。
確立された標準的な手術法である。

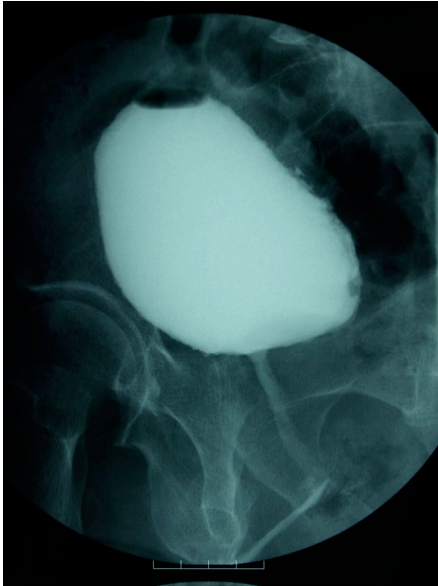
メリット

すぐに効果を実感できる。
再発が少ない。



TUR-P (症例)

術前



術後

